

羽田圭二

社民党世田谷区議会議員

はねだ
けいじ

せたがやレポート

NO.136 2019年4月号 世田谷区野毛3-6-22 ☎ 3702-3550 FAX3702-3881



誰もが安心して暮らし続けられ 保坂区長と共に前進

2019年4月、保坂のぶと世田谷区長誕生から丸8年を迎えます。2011年3月11日の東日本大震災・原発事故という未曾有の大災害直後の区議・区長選において、多くの区民の期待の下、「区民参加」による区政へと大きく前進しました。

ました。さらに、二子玉川の再開発事業では、建設経費の削減、地域住民への開放スペースの確保、ビル風対策の強化へとつなげられました。

第2期目は、子ども・若者、高齢者・障がい者を含め、誰もがありのままに、住み慣れた地域で住み続けられる環境の整備などが進みました。福祉の総合的サービスの拡充に向けた取り組みとして、地域包括ケアシステムの確立、世田谷版「ネウボラ」の設置などが進められてきました。

今後さらに世田谷に住んでさえいけば、生まれたときからご高齢になるまで、一貫したサービスを受けられる社会の実現へとつなげなくてはなりません。

ずっと世田谷で大丈夫

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」。これは、多くの

区民の願いです。介護や子育て、病気やケガ、技能取得や再教育の際にも、仕事から離れなくても済むよう、また、倒産や解雇などによって一旦仕事から離れても、再び就労の場に戻るよう、全ての世代を支える仕組みづくりが急務です。次世代を担う子どもたち、現役世代と高齢者世代が互いに手を取り合いながら暮らせる、よりよいまち世田谷をめざします。

言葉や文化の違い、多様な意見を認めあう社会をつくり、平和な社会・平穏な生活を脅かす政治にストップをかけなければなりません。

貧困や格差を広げる政治から、排除しない政治へ、誰もが安心して働き暮らせる社会をつくるために、羽田圭二は、2019年4月の議会議員選挙に挑みます。

羽田圭二 5期19年半の実績

未来は子どもたちのために



議員は、これから何をするのが大切ですが、議員として何をしてきたのかということももっと大切です。

子どものいのちと安全

【第1期 1999年～2003年】

区立小学校のプール事故や通学中の交通事故による児童の死を通じて、学校内や通学路の安全対策を求めました。

実現

- ◎通学路の危険箇所の点検・改善
- ◎通学路の交差点・交通安全対策
- ◎プールに可動式床の導入

子育てから介護まで

【第2期 2003年～2007年】

介護保険の導入から3年目、家族介護の負担を取り除く在宅支援、子育てから介護まで社会が責任を持つ必要性をもとめました。

実現

- ◎在宅介護支援の拡充
- ◎認可保育園の拡充
- ◎公立幼稚園全面廃止の撤回
- ◎多摩堤通りバス停の改善

2015年前回区議選

人にやさしい福祉のまちを

【第3期 2007年～2011年】



2009年12月議会 早い時期からの情報提供と住民参加によるまちづくりを含めた「街づくり条例の改定を求めました。

区内保育施設の視察

福島みずほ少子化担当大臣(2010年当時)と区内保育施設を視察、その後国有地を活用した保育園の第1号が建設された。

実現

- ◎国分寺崖線保全条例の制定
- ◎自転車の走行環境の改善
- ◎保育園建設に国有地の活用

災害に強く、人にやさしい福祉のまちを

【第4期 2011年～2012年12月】

大地震・大津波、原発事故という、未曾有の災害発生後の都市における災害対策の強化策を求めました。

実現

- ◎学校給食の放射能単品検査
- ◎災害対策総点検から避難所運営の改善
- ◎地域防災計画に原子力災害を盛り込む
- ◎「せたホツ」の設立

誰もが暮らし続けられる福祉のまちを

【第5期 2015年～2018年現在】

子どもの貧困率や児童虐待の増加、障害者施設での事件などを通じて、誰もが排除されない社会の実現を求めています。

実現

- ◎給付型奨学金制度の導入
- ◎母子支援・相談体制(世田谷版ネウボラ)
- ◎医療的ケア児の居場所づくり
- ◎男女共同参画条例の制定

福祉・社会保障

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるために、生まれたときから亡くなるまで、個々の状況に見合ったサービスが受けられる福祉を求めます。

家族介護・育児・引きこもりなどを個人の問題に終わらせることなく、家庭の複合的課題の改善に取り組みます。

実現したこ

- ◎若者サポートステーションの設立(2015年)
- ◎区立児童相談所の設置計画(2016年)
- ◎地域包括ケアシステムの全面展開(2017年)
- ◎ノーマライゼーションプランの見直し(2018年)

教育

障がいがあろうがなかろうが同じ教室で学び・遊び・助け合うインクルーシブ教育の推進。教員が子どもたちと十分向き合えるために、地域の人材を活かし教職員の増員を求めます。

実現したこ

- ◎通常学級の特別支援教育体制(2015年)
- ◎フリースクールへの支援(2016年)
- ◎特別支援学級の全校展開(2017年)
- ◎医療的ケア児支援の拡充(2018年)

人権・平和

誰もが個性を認め合い、ありのままに暮らせる地域社会。偏見と差別によるヘイトスピーチ、セクハラ・パワハラなど人権侵害と貧困・格差を放置しない社会の確立を求めます。異なる言語や文化を乗り越える国際交流と対話を重視した平和事業を求めます。

実現したこ

- ◎世田谷公園内に平和資料館の新設(2015年)
- ◎同性パートナーの区営住宅の同居(2016年)
- ◎多様性を認め、多文化共生の条例(2017年)
- ◎DV防止や被害者支援の拡充(2018年)

子ども・若者

働いている、働いていないにかかわらず安心して子育て出来るよう、子育て家庭をサポートするしくみを拡充します。

生きづらさを感じている子どもや若者への支援、中高生世代の居場所づくりや相談体制の充実を進めます。

実現したこ

- ◎子育てステーションの拡充(2015年)
- ◎中高生の居場所の増設(2016年)
- ◎「世田谷版ネウボラ」の創設(2017年)
- ◎保育待機児数の大幅な減少(2018年)

地域経済

中小企業・商店街の活性化をめざした、新規事業者・後継者育成、空き店舗への出店助成。また、入札制度改革、住宅の耐震改修・省エネ・エコ化助成の拡充による区内事業者の活動支援、人々を雇用の場になく支援、景気回復と雇用対策を強めます。

実現したこ

- ◎公契約条例の施行(2015年)
- ◎就労支援センターの拡充(2016年)
- ◎産業政策に建設業を位置付ける(2017年)
- ◎経済産業白書の作成に着手(2018年)

災害・環境・まちづくり

子ども・女性、高齢者・障がい者の視点に立った防災計画の策定。地球温暖化防止に向けた緑の保全・自然再生エネルギーの活用。プラスチック製品の発生抑制とリサイクル徹底、区民の省エネやエコ化への支援を強め、都市農地の保全に向けた特区申請、多摩川の浄化を進めます。

実現したこ

- ◎省エネ・エコ化助成の拡充(2015年)
- ◎自治体間連携による電力供給(2016年)
- ◎直下型地震に対する耐火・耐震対策(2017年)
- ◎豪雨災害への対応(2018年)

羽田圭二 これからの世田谷

羽田圭二の活動報告

9月活動報告			10月活動予定			11月活動予定		
1	土	新報配布	1	月	中町天祖神社祭礼	1	木	社民党自治体議員団全国任
2	日	地域回り	2	火	決算特別委員会【総括質疑】	2	金	区長要請
3	月	都市整備常任委員会	3	水	決算特別委員会【企画総務】	3	土	第3回リング会議
4	火	都市整備常任委員会	4	木	地域回り	4	日	多摩川クリーン&芋煮会
5	水	オリパラ環境等特別委	5	金	決算特別委員会【区民生活】	5	月	広報小委員会
6	木	外環道工事視察	6	土	区立尾山台小学校80周年	6	火	戦争させない世田谷千人委
7	金	区議団会議	7	日	上野毛稲荷神社祭礼	7	水	経済学研究会
8	土	奥沢神社祭礼	8	月	社民党東京会議	8	木	日帰り旅行会
9	日	平和パークジャンボリー	9	火	決算特別委員会【福祉保健】	9	金	事務処理
10	月	区議会控え室	10	水	地域回り	10	土	区立桜小学校90周年
11	火	質問通告日	11	木	決算特別委員会【都市整備】	11	日	ハーフマラソン
12	水	視察	12	金	決算特別委員会【文教】	12	月	社民党東京政策発表会
13	木	解雇事件報告会	13	土	中大白門会	13	火	都市整備常任委員会
14	金	団総会	14	日	体育館まつり	14	水	福島みずほ副党首20周年
15	土	神輿組立 玉中同期会	15	月	地域回り	15	木	事務処理
16	日	玉川神社祭礼	16	火	決算特別委員会【補充質疑】	16	金	議運
17	月	さようなら原発全国集会	17	水	京王線工事起工式	17	土	区立富士中70周年記念
18	火	議運 第3回定例会	18	木	区政報告会【弦巻地区】	18	日	消防合同点検
19	水	本会議	19	金	議運・本会議	19	月	地域回り
20	木	本会議	20	土	区政報告会【野毛地区】	20	火	事務処理
21	金	社民党都連合大会	21	日	野毛古墳まつり	21	水	地域回り
22	土	六所神社祭礼	22	月	社民党政策審議会	22	木	斎藤ゆうこ議員偲ぶ会
23	日	六所神社祭礼	23	火	世田谷をつくる会	23	金	フォークダンスの会
24	月	社民党世田谷会議	24	水	全国政策担当者会議	24	土	区立三宿小学校110周年
25	火	都市整備常任	25	木	全国幹事長会	25	日	福寿会誕生会
26	水	オリパラ環境等特別委	26	金	地域回り	26	月	事務処理
27	木	社民党B事務局長会議	27	土	地域回り	27	火	議運 本会議
28	金	議運 本会議	28	日	青少年ドッチボール大会	28	水	本会議
29	土	区立中町小学校創立60周年	29	月	区政報告会【喜多見地区】	29	木	本会議
30	日	区政報告会【用賀地区】	30	火	広報小委員会	30	金	事務処理
			31	水	区政報告会【烏山地区】			

羽田圭二とたんぼぼの会
入会のお願い

たんぼぼの会は、区議会議員・羽田圭二を財政面と政策面から支え、併せて会員相互の親睦を図ります。

この会は、会員の皆様からのカンパ及び年会費 2,000 円によって運営されています。

郵便振替口座 00160-5-11783

口座名称 羽田圭二とたんぼぼの会

*****連絡先*****

〒158-0082 世田谷区等々力4-5-10 伊佐ビル1階

☎3702-3563 FAX5758-2682

羽田圭二プロフィール

世田谷生まれ・世田谷育ち

1954年(昭29)世田谷区野毛39番地で生まれる

1967年(昭42)区立玉川小学校卒業

1970年(昭45)区立玉川中学校卒業

昼間国鉄で働きながら都立新宿高校定時制課程卒業

1976年(昭51)KPU京王自動車労組職員

1977年(昭52)世田谷局内郵便局入局郵便局員として郵便貯金窓口で働く

議員生活の中、51歳で中央大学法学部通信教育課程卒業

99年(平11)区議会議員初当選15年区議5期目に復活。

●都営野毛アパート自治会会長/都立広尾高校 PTA 会長/東京公立高等学校 PTA 第2学区長/上野毛地区町会自治会連合会監事を歴任●区議会では 福祉保健常任委員/環境・エネ問題対策特別委員会委員長/区民生活常任副委員長/社民党世田谷区議団幹事長を歴任/現役職・世田谷立憲民主党・社民党区議団政調会長/都市整備常任副委員長

●現在 東京都公害防止管理者 第II 30771号/社民党都連合代表及び世田谷総支部代表/社民党自治体議員団全国会議幹事長/中大信窓会東京支部相談役/中大白門会世田谷区支部副支部長

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報

発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)
〒104-0043 東京都中央区浜3-18-17 マルキ樓本ビル5階 電話代表 03(3553)3787・振替 00140-1-3230
●定価180円●1ヵ月700円●送料164円